



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年1月31日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東  
 コード番号 2883 URL <https://dai-rei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 史好  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長 (氏名) 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の業績 (2021年4月1日~2021年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	17,630	1.4	834	9.7	840	5.8	571	6.9
2021年3月期第3四半期	17,385	△18.3	760	△21.0	794	△18.2	534	△19.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年3月期第3四半期	96.73		—					
2021年3月期第3四半期	90.11		—					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	11,830	8,512	71.9
2021年3月期	10,856	8,266	76.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 8,512百万円 2021年3月期 8,266百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	55.00	55.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	6.6	1,000	4.8	1,000	△0.8	677	△1.1	114.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	6,008,300株	2021年3月期	6,008,300株
2022年3月期3Q	98,627株	2021年3月期	98,627株
2022年3月期3Q	5,909,673株	2021年3月期3Q	5,931,963株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(会計方針の変更) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、緊急事態宣言等の全面解除やワクチン接種の広がりを受け、人流の戻りと経済活動および社会活動の正常化に向けた動きが見られるものの、今後の感染再拡大の懸念は拭えず先行き不透明な状況が続いております。

国内食品業界におきましては、コロナ禍における新しい生活様式に基づく消費者需要の変化への対応が求められる一方、原材料価格の上昇もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社は、新型コロナウイルス感染症による消費者の生活様式の変化が売上に影響を及ぼす中で、えび商品の直接貿易に新たに取り組むなど積極的に営業活動を進めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、「ダイスカットシリーズ」など当社独自商品の拡販に努めましたが、「さんま」の原料不足による販売減により売上高7,296,136千円（前年同期比1.7%減）、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の拡販などにより売上高1,663,949千円（前年同期比6.1%増）、その他事業におきましては、直接貿易により調達したえび商品の大手ユーザーへの拡販などにより売上高8,670,864千円（前年同期比3.3%増）となりました。これにより当第3四半期累計期間の売上高は17,630,951千円（前年同期比1.4%増）となりました。

損益面につきましては、売上増加に伴い経費が僅かに増加しましたが、直接貿易の推進で仕入コスト引き下げによる粗利率改善により、営業利益は834,545千円（前年同期比9.7%増）、経常利益は840,902千円（前年同期比5.8%増）、四半期純利益は571,613千円（前年同期比6.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比較して974,241千円増加し、11,830,819千円となりました。これは主に現金及び預金が1,803,639千円減少した一方で、受取手形及び売掛金が1,420,980千円、商品が360,204千円、流動資産のその他に含まれる前渡金が981,779千円増加したことによるものです。

#### (負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末と比較して728,627千円増加し、3,318,766千円となりました。これは主に未払法人税等が41,266千円減少した一方で、買掛金が695,198千円増加したことによるものです。

#### (純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は前事業年度末と比較して245,613千円増加し、8,512,052千円となりました。これは主に配当金の支払を325,032千円行った一方で、四半期純利益を571,613千円計上したことにより利益剰余金が246,581千円増加したことによるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の将来予想につきましては、2021年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,310,327	2,506,688
受取手形及び売掛金	3,760,123	5,181,103
商品	1,862,939	2,223,143
その他	25,869	1,025,206
貸倒引当金	△373	△513
流動資産合計	9,958,887	10,935,629
固定資産		
有形固定資産	648,890	648,528
無形固定資産	21,124	21,474
投資その他の資産		
その他	234,986	232,496
貸倒引当金	△7,310	△7,310
投資その他の資産合計	227,676	225,186
固定資産合計	897,690	895,190
資産合計	10,856,577	11,830,819
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,612,041	2,307,240
未払法人税等	164,107	122,841
賞与引当金	33,054	25,080
その他	416,072	483,168
流動負債合計	2,225,276	2,938,329
固定負債		
退職給付引当金	237,740	246,329
その他	127,121	134,107
固定負債合計	364,861	380,437
負債合計	2,590,138	3,318,766
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金	686,951	686,951
利益剰余金	5,864,868	6,111,449
自己株式	△200,091	△200,091
株主資本合計	8,261,553	8,508,134
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,885	3,917
評価・換算差額等合計	4,885	3,917
純資産合計	8,266,438	8,512,052
負債純資産合計	10,856,577	11,830,819

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	17,385,857	17,630,951
売上原価	14,421,298	14,573,460
売上総利益	2,964,559	3,057,491
販売費及び一般管理費	2,203,621	2,222,945
営業利益	760,937	834,545
営業外収益		
受取賃貸料	6,732	6,732
雇用調整助成金	27,240	—
その他	2,506	5,762
営業外収益合計	36,478	12,494
営業外費用		
賃貸収入原価	1,711	1,661
為替差損	637	4,329
その他	318	146
営業外費用合計	2,666	6,137
経常利益	794,748	840,902
税引前四半期純利益	794,748	840,902
法人税等	260,240	269,288
四半期純利益	534,508	571,613

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、着荷予定日に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、これによる利益剰余金の当期首残高および当第3四半期累計期間の損益に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。